

第7. 共同化による効果

仙台市と塩竈市で浄水場を共同整備することで、施設の整備費や工事期間の短縮を図ることができ、CO₂排出量の削減にもつながります。整備費においては、それぞれの浄水場を単独で更新するよりも20.3%削減できると試算しています。これによって、財政支出を抑制することができ、持続可能な経営につながります。

表 7-1 浄水場に係る整備費用の削減効果

単位：百万円（税込）

①単独整備			②共同整備	(①-②)/①
国見浄水場	中原浄水場	梅の宮浄水場	共同浄水場	削減率 (%)
25,522	12,434	8,738	37,215	20.3
46,694				

※概算事業費をもとに費用関数（厚生労働省）を用いて試算

※熊ヶ根浄水場の施設能力は国見浄水場分に含む

また、修繕費、電力費などの維持管理費を低減できる効果もあります。

その他、水道事業では昨今、職員の減少によって人材の確保や技術継承が課題となっています。両市が共同で浄水場を整備することで、これまで浄水場の運転に要してきた人員数を削減することが可能となります。これによって浄水場運転以外の施策に職員を充てることができ、効率的な事業運営を行うことができます。